

## 「災害時外国人支援シンポジウム～外国人を災害弱者にしないために～」

大きな災害が起こった時に、地域でどのように外国人を支援すべきかについて考えるため、平成24年2月8日（水）に、大宮ソニックシティ 国際会議室で「災害時外国人支援シンポジウム」を開催し、行政関係者や、外国人支援を行っている日本語教室関係者など74名が参加しました。

シンポジウムでは、東日本大震災での実際の支援の様子や、災害時に外国人はどのようなことで困るのかについて講義をしたあと、「外国人を災害弱者にしないために」と題してパネルディスカッションを行いました。パネルディスカッションでは、支援を行う際の注意点や、やさしい日本語での情報提供など具体的な内容について話し合わせ、参加者からは「災害時に外国人支援を行うために、どのような準備をすべきかが整理できた」といった感想をいただきました。

### ●実施概要

1 日 時 平成24年2月8日(水) 13:00～16:00

2 会 場 大宮ソニックシティ 国際会議室

3 参加者 74人

### 4 内 容

	内容	講師
13:00-13:05	挨拶	(財)埼玉県国際交流協会 柿沼トミ子理事長
13:05-14:05	東日本大震災での外国人支援の事例	(財)仙台国際交流協会 須藤伸子氏
14:05-14:35	外国人は災害時にどんなことで困るのか	(特活)多文化共生マネージャー 全国協議会 時光氏
14:35-14:50		休 憩
14:50-15:50	【パネルディスカッション】 外国人を災害弱者にしないために	埼玉大学 中本進一教授、 (財)仙台国際交流協会 須藤伸子氏、 (特活)多文化共生マネージャー 全国協議会 時光氏
15:50-16:00	連絡事項、アンケート記入	

5 協力 財団法人地域国際化協会

## 6 参加者の感想

- ・災害発生時の支援活動について、実際に現場で尽力された方々のお話を聞いて、大変貴重でした。思いつかなかった考えが多く伺えて、目からうろこでした。ありがとうございました。今後、自分の職務において、また地域においても活かしていきたいです。(女性・行政関係者)
- ・非常に参考になりました。極力、何回も開催してほしいと思います。自治会も参加した多文化共生施策が必要だと思います。(男性・日本語ボランティア)
- ・実際の事例の話聞き大変参考になりました。自治体の規模や外国人住民の構成などが違うため、各自治体でも独自に考えていかなければいけないと感じました。(女性・行政関係者)
- ・自治体として、解決すべき問題がいかに多いか自覚できた。話がよく整理されているうえ、実際の体験からの話なので大変参考になりました。(男性・行政関係者)

## 7 報道

- ・埼玉新聞(平成24年2月2日)
- ・テレビ埼玉 テレ玉イブニングニュース(平成24年2月8日 17:45～)、ニュース930(21:30～) 75秒

## 8 会場の様子



講義



パネルディスカッション